



Yashoravi Bakmiwewa

事務局長補佐

セイロン経営者連盟

(The Employers' Federation of Ceylon)

1929年に設立されたセイロン雇用者連盟 (Employers' Federation of Ceylon) は、今日、スリランカの全国雇用者団体となっており、ILOの雇用者を構成しています。ほぼ全業種から700++社の民間部門の会員企業を有しています。

EFCは、下記のサービスを提供しています。

- 政策関連事項に関するアドボカシーおよびロビー活動 X
- 労使関係管理、懲戒事項および関連通信に関する法律および人事に関する助言サービス ✓ その他 X
- 労働審判、仲裁、労働省での審問、雇用終了管理ユニット (Termination Unit) での審問、労働者災害補償委員会での審問、IR紛争、および特別雇用管轄に基づく治安判事裁判所での訴訟における代理 X
- 労働法、HRおよび労働安全衛生に関する研修 (会員組織および非会員組織の双方に対し実施) X
- 特別な法務人材の配属、報酬・給付の調査、労働法、HRM、外部委託監査、特別ジェンダー監査、業績管理システムに関する助言、作業研究、従業員エンゲージメント風土調査、雇用関連方針およびマニュアルの草案および検討等、法律およびHRMに関するソリューション
- 雇用関連のリサーチおよび公表

スリランカの労働統計

労働力率 (LFPR)

L	
S	8,592,010
M	5,554,192
F	3,037,818

- スリランカのLFPRは、比較的低い
- 性別にみると、女性の労働力率が非常に低い。

SL- 52.3%



73%

34.5%

雇用統計

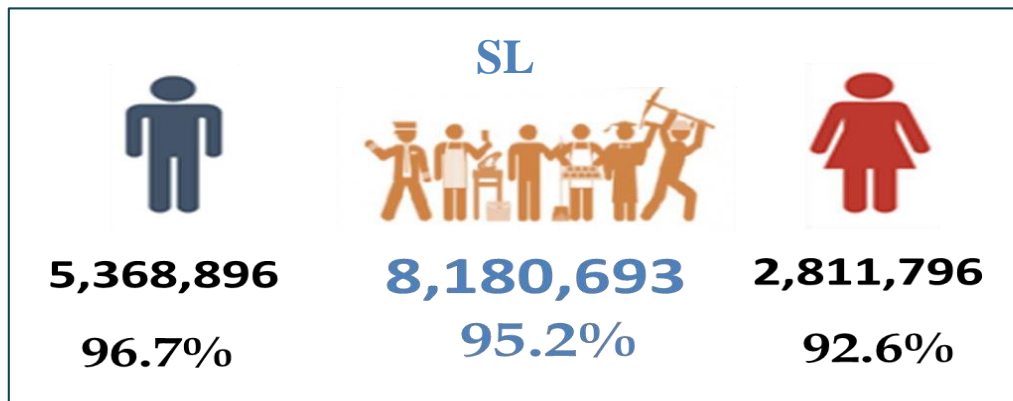


表 4.4

被雇用者

雇用状況	合計		性別			
			男性		女性	
	人数	%	人数	%	人数	%
合計	8,180,693	100.0	5,368,896	100.0	2,811,796	100.0
被雇用者	4,738,244	57.9	3,097,864	57.7	1,640,380	58.3
公共	1,216,549	14.9	657,149	12.2	559,400	19.9
民間	3,521,695	43.0	2,440,715	45.5	1,080,980	38.4
雇用者	209,159	2.6	187,480	3.5	21,679	0.8
自営業者	2,658,735	32.5	1,962,287	36.5	696,448	24.8
家業手伝い	574,555	7.0	121,266	2.3	453,289	16.1

- 民間部門は、約350万人を雇用しており、自営業者は270万人に達する。
- 民間部門従業員の81.3%、自営業者の57.3%が、非農業分野に従事している。
- 非公式部門が、330万人を超える国内被雇用者人口を構成している。
- 労働者人口のかなりの部分が、一切の形式の社会保障下になく、所得を喪失した場合に影響を受けやすくなっている。

失業統計

- 概して、スリランカの失業率は比較的低い。
- 女性の失業率が比較的高い。

SL - 4.8%

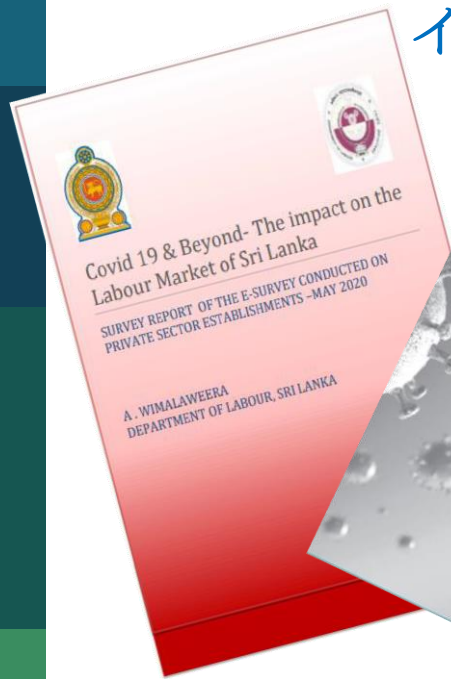


3.3%



7.4%

イースターサンデー・アタック



総数 (SL)

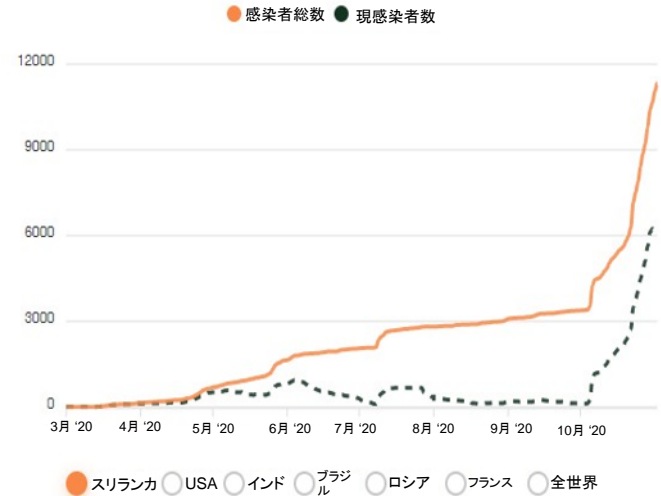
感染確認者総数
11,335

死亡者数
21

回復者数・退院者数
5,249

感染が疑われる者・入院患者数
389

現感染者総数 (SL)

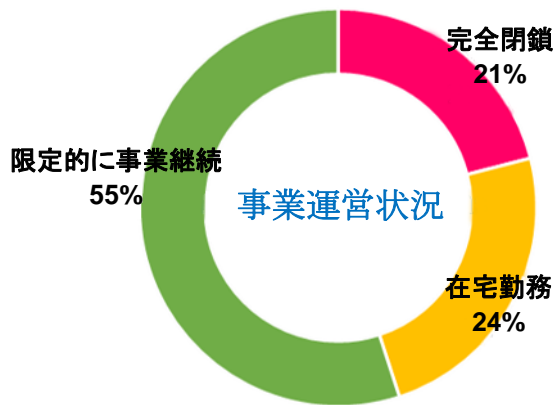


新型コロナウイルス感染症 の影響

新型コロナウイルス感染症 の影響

事業運営状況

- 21%が、事業運営の完全中断を強制された。
- 企業の半数以上が、出勤者と在宅勤務者を分けて限定的に事業を継続した。
- 表内の他24%の企業が、ほとんどの従業員を在宅勤務させた。



業種	生産損失	収益の損失	輸出収益の損失	投資損失
農業、林業、漁業	33.00	48.58	50.00	0.00
製造	46.94	45.33	49.62	44.77
卸売・小売業、自動車・オートバイ修理	44.17	53.06	7.50	23.33
宿泊・食品サービス業	89.40	91.00	92.50	73.33
情報コミュニケーション	36.00	53.80	30.00	27.20
金融・保険業	40.83	60.00	63.33	55.00
全体	48.41	56.35	42.78	42.72

観光

キーポイント

— 各国における空港の閉鎖とウィルスの急速な感染拡大により、国内外の需要が事実上ゼロとなった。需要の回復は、国内経済活動の回復の速さに大きく依存しており、国境の封鎖解除は、主要収益源市場の迅速な回復が見られた場合のみ効果があると予測される。

- スリランカの観光業は、連続爆破テロ事件後の余波により既に不調を来していた。観光来訪者は、18.0%減少し、2019年の来訪者数は190万人であった。
- 2019年は、インドからの旅行者が最も多く、全来訪者数の18.6%を占めていた。次にイギリス10.4%、中国8.8%と続いた。

月別観光来訪者



アパレル

キーポイント

- アパレル部門は、今回最も影響を受けた部門の一つであり、需要と供給の両方に影響が及んだ。供給は徐々に再開してきているが、最大輸出相手国の多くが、最悪の影響を受けており、生産と輸送のキャンセルが生じている。

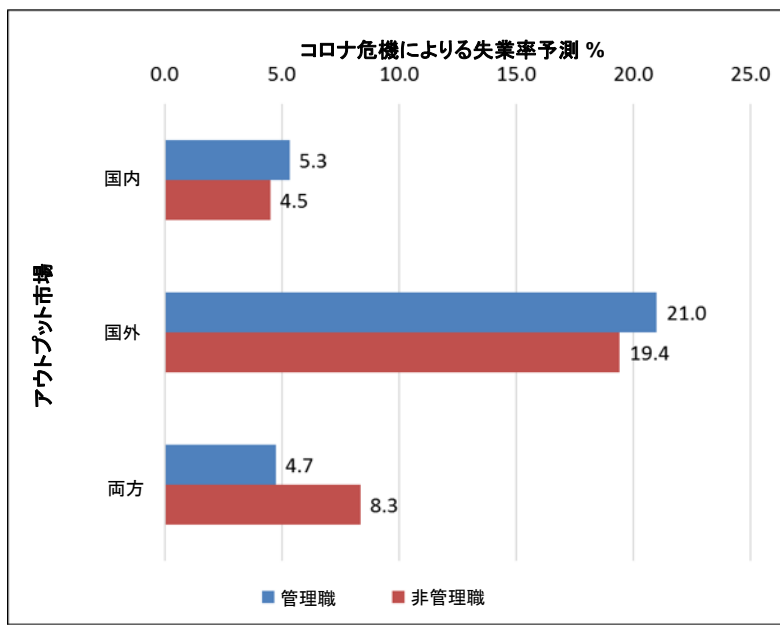
農業セクター

農業部門関連企業は、新型コロナウイルス感染症に対し、他部門よりも高い回復力を見せている。全部門の中で失業率が最も低く、「完全稼働」および「生産能力以下で運営」している事業者の割合が最も高い。

インフォーマルセクター

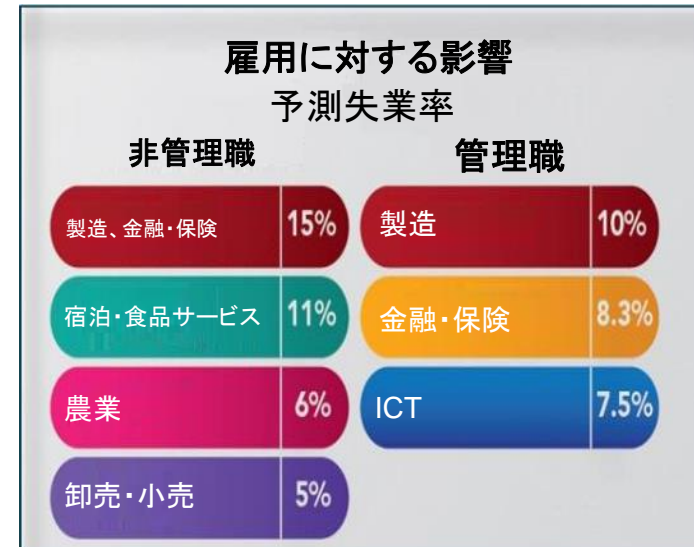
最も影響を受けやすい集団は、日雇い労働者である。三輪タクシーオーナー、床屋/サロンオーナー、家庭教師、くじ/新聞販売員、家族経営者、大工、石工職人、スクールバス運転手、露店商人等である。

雇用に対する影響



- 概算平均失業率は、管理職が7%、非管理職が9%であった。
- 輸出市場を対象とする企業は、管理職、非管理職ともに、19~21%の失業率と概算された。

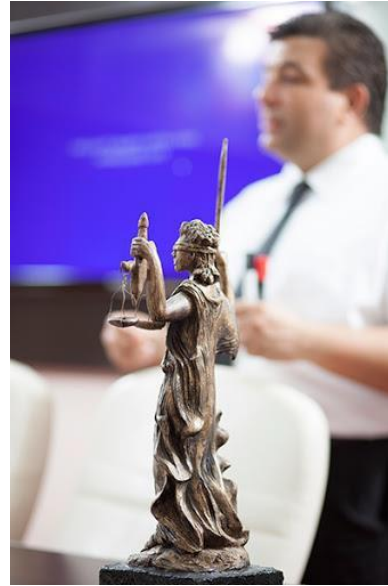
- 非管理職の失業率が最も高かったのは、製造部門と、金融・保険部門であった。
- 次に、ホスピタリティ・食品サービス業 (11%)、農業 (6%)、卸売・小売業 (5%)と続いた。
- 管理職の失業率が最も高かったのは、製造業 (10%)、金融・保険業 (8.3%) および情報・コミュニケーション業 (7.5%)であった。



企業の代弁者としてのEFCの役割



比例型賃金、実業界の利益、労働法の緩和を求める全国三者協定



リストラ等に起因する事項に関する法廷において会員企業を代表



節減、希望退職制度の展開、雇用条件の再交渉への対応、経営再建等に関する諮問サービスの提供



Saeed esmailian